

主催：日本ソルフェージュ研究協議会

第15回 講演会

フランス、ソルフェージュ教育の変換 ～「フォルマシオン・ミュージカル」への道のり～

「フォルマシオン・ミュージカル」という言葉を聴くようになってかなりの年月が経ちました。しかし、言葉としてのフォルマシオン・ミュージカルは広まりましたが、それが生まれた経緯、理念、発祥地フランスでの実践については、十分に理解されているとはいえないのが現状と思います。本協議会会員の舟橋三十子先生の科研費研究の一環として、パリ音楽院でソルフェージュ教育に当たっていらっしゃる渡辺りか子教授をお招きして、フォルマシオン・ミュージカルへの道のり、評価される点と問題点、これからの課題について語って頂きます。フランスでのソルフェージュ教育の実態を知ることで、新たな示唆が多く得られることと思います。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

なお、コロナの状況は日々変化しておりますので、突然の変更がありうることをご了承頂ければ幸いです。

日本ソルフェージュ研究協議会会長 渡辺 健二

日時：2023年11月5日(日) 14:00開演(13:30開場)

会場：東京藝術大学音楽学部5-109大講義室

対象：①対面

一般及び会員 要予約 下記に予約方法記載(申し込み締切2023年11月1日(水)17:00)

②オンライン(アーカイブ)…会員限定

Web配信期間2023年12月4日(月)20:00～2024年1月8日(月)10:00

講師：渡辺りか子

◎ここ半世紀ぐらいのソルフェージュ教育の変換、現在の様子、評価される点と問題点、これからの課題、などについて



渡辺りか子 WATANABE Rikako

作曲家、オルガニスト、パリ国立高等音楽院教授。国立音楽大学大学院作曲専攻修了後、ロータリー財団奨学生としてフランスに留学。パリ国立高等音楽院和声科、対位法科、フーガ科をブルミエ・ブリで卒業。及び、リヨン国立高等音楽院作曲理論科を首席で卒業。また、サン・モール音楽院パイプオルガン科最上級課程をブルミエ・ブリで卒業。1993年、フランス、モンブリゾン国際即興演奏コンクールファイナリスト。ソルフェージュ教授国家資格(CA)を取得後、2002年、

ソルフェージュ科教授に日本人として初めて選抜試験を経て就任し、現在に至る。また、室内楽などの作品は、フランス、ドイツ、スイス、イタリアなどヨーロッパ各地のフェスティバルで演奏されている。



オーガナイザー

舟橋三十子 FUNAHASHI Mitoko

東京藝術大学作曲科卒業、同大学院修了。日本大学非常勤講師、名古屋芸術大学大学院教授を経て、現在、浜松学院大学短期大学部客員教授。ソルフェージュ関係の著書も多く、ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングス、音楽之友社、全音楽譜出版社、カワイ出版等から出版されている。公開講座を、朝日カルチャーセンター、早稲田大学エクステンションセンター、ヤマハミュージック等で担当。

入場料：無料(会員以外の方は、当日、一般3000円、学生1000円の経費負担をお願い致します)

申し込み方法：次のいずれかの方法でお申し込みください。(申し込み締切2023年11月1日(水)17:00)

① Google Forms (QRコードまたはURLから)

<https://forms.gle/xhFsPcr86mHXTu256>

(第15回講演会申し込みフォーム)

② Eメール

事務局宛に氏名・メールアドレス・電話番号を明記し、直接お申し込みください。



Homepage



Facebook



申し込み先：

問合せ先：日本ソルフェージュ研究協議会事務局

Tel. 090-5566-8567 (留守番電話)

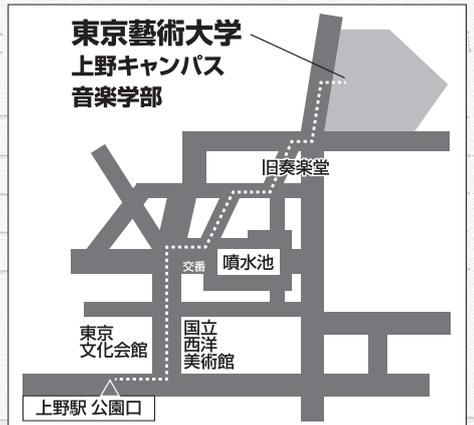
E-mail: ni.sol.ken@gmail.com <http://www.ni-sol-ken.com/index.html>

会員ログイン用QRコード



尚、感染症の状況により対面開催を中止する場合にはHPでお知らせいたしますので、あらかじめご了承ください。

オンライン視聴は以下の会員ログインのURLもしくは左のQRコードからお入りください。
<http://www.ni-sol-ken.com/member/auth.php>



科研費
KAKENHI

この講演はJSPS科研費JP21K00223の研究助成を受けたものです。(研究課題名「音楽リテラシーとしてのソルフェージュ：フランスの事例分析と日本への定着の追究」研究代表者：舟橋三十子)